

関係各位

美瑛富士避難小屋にトイレの設置を要望する署名活動へ協力をお願い

平成 17 年 7 月 1 日

山のトイレを考える会

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より当会の活動にご理解、ご協力をいただき、誠に有り難うございます。

さて、当会では発足以来、山のトイレ問題の解決に向けた活動を進めて参りましたが、従来の活動の経緯と、本年3月に開催した「第6回山のトイレを考えるフォーラム」での論議などを受け、美瑛富士避難小屋周辺の環境改善に向けて標記の活動を実施することになりました。

大雪山国立公園の美瑛富士には避難小屋が設置され、野営指定地でもあります。避難小屋にはトイレがないため、周辺にはし尿や使用済みの紙が散乱し、踏み跡や裸地が現在も拡大し続けています。当会では、昨年9月、美瑛富士清掃登山を実施し、し尿、使用済みティッシュの回収作業を行いました。早急に抜本的な対策が求められています。

美瑛富士の現状をこれ以上悪化させないため、当会では、環境大臣および北海道知事に対し、美瑛富士避難小屋へのトイレ設置を含めた環境保全策と、北海道全体の山岳地に対する環境保全対策の充実を要請する必要があると考え、その方策として、広く道内外の山岳関係団体、各種団体、個人に呼びかけ、「**美瑛富士避難小屋にトイレ設置を求める連絡会**」として署名活動に取り組む事となりました。

つきましては、登山者の方々、山岳地の環境保全に興味をお持ちの方々にも署名を集める活動にお力をお借り致したく、ご協力をお願いする次第です。

署名用紙が不足の場合、恐れ入りますが同封の用紙をコピーしてご使用ください。

また、当会のホームページからダウンロードする事も可能です。

登山者の声を行政に反映し、美瑛富士の環境を改善するにはより多くの署名が必要ですが、当面の目標を三万筆以上とし、第一次集約は本年9月末を目途としています。

署名の集約と連絡会の窓口は当会が担当致します。

なお、この活動に対してのご意見、ご指摘などいただければ幸いです。

敬 具

< 連絡・問い合わせ先 >

山のトイレを考える会・事務局(担当:愛甲)

北海道大学大学院農学研究科園芸緑地学講座内

060-8589 札幌市北区北9条西9丁目

電話 & ファックス 011-706-2452

URL <http://www.yamatoilet.com/>

電子メール hokkaido@yamatoilet.com